



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 株式会社キョウデン 上場取引所 東
 コード番号 6881 URL <https://www.kyoden.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永沼 弘
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 市原 敏明 TEL 03-5747-9622
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	49,803	18.8	5,565	1.2	3,397	△15.2	3,498	△14.0	2,484	△13.3
2022年3月期第3四半期	41,937	25.1	5,497	88.1	4,006	171.0	4,065	155.8	2,867	154.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,088百万円 (12.5%) 2022年3月期第3四半期 2,745百万円 (291.1%)

(※) EBITDA=営業利益+減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	50.00	—
2022年3月期第3四半期	57.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	65,324	26,218	40.0
2022年3月期	53,412	23,978	44.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 26,099百万円 2022年3月期 23,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	13.3	5,800	13.8	5,700	11.6	4,100	9.5	82.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	52,279,051株	2022年3月期	52,279,051株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,592,955株	2022年3月期	2,592,895株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	49,686,137株	2022年3月期3Q	49,686,190株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境概要は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限が緩和され、経済活動の正常化に向けた動きが見られた一方、長期化するウクライナ情勢に伴う資源やエネルギー価格の高騰に加え、為替相場の急激な変動、世界各国の金融引締め等により景気の先行きは依然不透明となっております。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比18.8%増の49,803百万円、EBITDAは前年同期比1.2%増の5,565百万円、営業利益は前年同期比15.2%減の3,397百万円、経常利益は前年同期比14.0%減の3,498百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比13.3%減の2,484百万円となりました。

なお、EBITDA（営業利益＋減価償却費）を重要な経営指標と位置づけ、今期よりEBITDAを業績指標に採用しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（電子事業）

電子事業全般に関しましては、キョウデンの特色である多岐に渡るアプリケーションに於いて、事務機・精密機器関連を除きすべてにおいて前年を上回る結果となりました。

国内電子事業につきましては、5G・IoT関連需要に伴う受注増加により引き続き堅調に推移しました。主要アプリケーションの前年比は「車載機器：26%増」「産業機器（半導体製造装置／産業用ロボット／測定器）：29%増」、「インフラ関連（セキュリティ関連／監視カメラ等）：21%増」「通信・IoT関連機器：17%増」となっております。

海外電子事業につきましては、直近の第3四半期会計期間において車載関連分野で半導体や部品不足による生産調整の影響が続き受注が低迷しましたが、累計期間の売上高は前年を上回る結果となりました。一方で、生産量増加に伴い大型の設備投資を計画し実行するも、設備導入に至るまで部分的な部品等の不足による設備納入の足並みが揃わず、生産開始が遅れ外注費が増加となりましたが、来期に向けた準備期間ととらえております。また、不安定な世界情勢に伴う原材料やエネルギー価格が上昇し、収益を下押しする要因となりました。このような環境のもと、電子事業全体の売上高は前年同期比17.4%増の38,925百万円、EBITDAは前年同期比0.1%増の4,627百万円、セグメント利益に関しましては、設備投資により償却費が689百万円増加し前年同期比20.7%減の2,622百万円となりました。

今後の見通しに関しましては、国内電子事業においては、一部で顧客の在庫調整の動きが見られるものの売上は引き続き堅調に推移する予定であり、設備増強による生産効率化によって原価低減も見込まれます。海外電子事業においては車載関連等が不透明ではあるものの、電子事業全体では海外電子事業の弱含みを引き続き国内電子事業が牽引していく見込みです。

（工業材料事業）

工業材料事業につきましては、力強さにかけるものの国内製造業が回復基調にあることや資源価格の上昇、円安を背景に、グラスファイバー原料製造、金属系原料・窯業原料の仕入れ販売事業の売上が伸びたほか、一般的に堅調に推移しました。一方で急激に円安が進んだことにより原材料やエネルギー価格が上昇しており収益を下押しする状況が続いています。その結果、売上高は前年同期比24.0%増の10,877百万円、EBITDAは前年同期比7.5%増の938百万円、セグメント利益は前年同期比11.2%増の775百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は65,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,911百万円増加しました。主な増加は、現金及び預金の増加790百万円、売上債権の増加2,878百万円、棚卸資産の増加3,134百万円及び有形固定資産の増加5,231百万円であります。

負債の残高は39,106百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,672百万円増加しました。主な増加は、支払手形及び買掛金の増加611百万円及び借入金の増加9,379百万円であります。

純資産の残高は26,218百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,239百万円増加しました。主な増加は、利益剰余金の増加1,639百万円及び為替換算調整勘定の増加630百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,578	7,369
受取手形、売掛金及び契約資産	15,139	17,213
電子記録債権	3,038	3,842
商品及び製品	2,860	4,122
仕掛品	3,293	3,994
原材料及び貯蔵品	4,226	5,397
その他	739	772
貸倒引当金	△136	△143
流動資産合計	35,738	42,568
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,580	4,144
その他（純額）	11,821	16,489
有形固定資産合計	15,401	20,633
無形固定資産		
255		281
投資その他の資産		
その他	2,171	1,998
貸倒引当金	△155	△157
投資その他の資産合計	2,016	1,840
固定資産合計	17,673	22,755
資産合計	53,412	65,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,279	8,890
電子記録債務	1,658	1,795
短期借入金	5,700	12,950
1年内償還予定の社債	180	120
1年内返済予定の長期借入金	2,345	1,861
未払法人税等	769	140
賞与引当金	444	365
その他	3,252	3,706
流動負債合計	22,627	29,830
固定負債		
社債	60	—
長期借入金	3,066	5,678
役員退職慰労引当金	8	6
退職給付に係る負債	2,787	2,890
その他	883	699
固定負債合計	6,806	9,275
負債合計	29,433	39,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,174	4,174
利益剰余金	16,634	18,273
自己株式	△491	△491
株主資本合計	24,675	26,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76	39
為替換算調整勘定	△885	△255
退職給付に係る調整累計額	10	1
その他の包括利益累計額合計	△799	△214
非支配株主持分	103	118
純資産合計	23,978	26,218
負債純資産合計	53,412	65,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)
売上高	41,937	49,803
売上原価	33,367	41,486
売上総利益	8,569	8,316
販売費及び一般管理費	4,563	4,919
営業利益	4,006	3,397
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	31
受取賃貸料	9	11
為替差益	42	50
補助金収入	71	—
その他	125	145
営業外収益合計	253	238
営業外費用		
支払利息	49	57
固定資産除却損	65	—
固定資産廃棄損	35	—
その他	43	80
営業外費用合計	193	137
経常利益	4,065	3,498
税金等調整前四半期純利益	4,065	3,498
法人税、住民税及び事業税	1,045	834
法人税等調整額	141	159
法人税等合計	1,186	994
四半期純利益	2,879	2,504
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,867	2,484

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,879	2,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	△36
為替換算調整勘定	△97	630
退職給付に係る調整額	7	△9
その他の包括利益合計	△133	584
四半期包括利益	2,745	3,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,733	3,068
非支配株主に係る四半期包括利益	12	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	33,165	8,771	41,937	—	41,937
外部顧客への売上高	33,165	8,771	41,937	—	41,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	33,165	8,771	41,937	—	41,937
セグメント利益（注）	3,308	697	4,006	—	4,006

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	38,925	10,877	49,803	—	49,803
外部顧客への売上高	38,925	10,877	49,803	—	49,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	38,925	10,877	49,803	—	49,803
セグメント利益（注）	2,622	775	3,397	—	3,397

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。